

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年2月13日(2014.2.13)

【公表番号】特表2013-515573(P2013-515573A)

【公表日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【年通号数】公開・登録公報2013-022

【出願番号】特願2012-546163(P2012-546163)

【国際特許分類】

A 6 1 M 27/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 27/00

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月19日(2013.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

組織部位に減圧治療を適用する減圧治療システムにおいて、

キャニスタであって、

少なくとも1つの壁によって画定される液体収集チャンバと、

前記少なくとも1つの壁内に形成された第1気体連通路と、

前記少なくとも1つの壁内に形成された第2気体連通路と、

前記第1気体連通路と前記液体収集チャンバとの間に配置され、前記液体収集チャンバと前記第1気体連通路との間の気体の連通を可能にする第1開口部と、

前記第2気体連通路と前記液体収集チャンバとの間に配置され、前記液体収集チャンバと前記第2気体連通路との間の気体の連通を可能にする第2開口部と、

前記第1開口部内を液体が通過するのを実質的に防止するように前記第1開口部の上に配置された第1液体・空気分離体と、

前記第2開口部内を液体が通過するのを実質的に防止するように前記第2開口部の上に配置された第2液体・空気分離体と、

を備えるキャニスタと、

前記キャニスタと流体連通して、前記液体収集チャンバに減圧を送達する減圧源と、

前記液体収集チャンバと流体連通し、前記減圧を前記組織部位に分配するように前記組織部位に配置されたマニホールドと、

を具備することを特徴とする減圧治療システム。

【請求項2】

請求項1に記載の減圧治療システムにおいて、

前記少なくとも1つの壁が第1壁を含み、前記第1気体連通路が前記第1壁内に形成され、

前記少なくとも1つの壁が第2壁を含み、前記第2気体連通路が前記第2壁内に形成されることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項3】

請求項2に記載の減圧治療システムにおいて、前記第1壁が前記第2壁に対向することを特徴とする減圧治療システム。

【請求項4】

請求項₂に記載の減圧治療システムにおいて、前記第1壁が前記第2壁に隣接することを特徴とする減圧治療システム。

【請求項5】

請求項₁に記載の減圧治療システムにおいて、前記少なくとも1つの壁が円筒形状であることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項6】

請求項₁に記載の減圧治療システムにおいて、
前記キャニスタが、
前記第1気体連通路および前記第2気体連通路に流体連結されたマニホールドチャンバと
、
前記マニホールドチャンバに流体連結された減圧ポートと、
をさらに備えることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項7】

請求項₁に記載の減圧治療システムにおいて、前記キャニスタが、前記液体収集チャンバ内に配置された吸収性パッドをさらに備えることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項8】

組織部位に減圧治療を適用する減圧治療システムにおいて、
キャニスタであって、
液体収集チャンバを形成する複数の壁と、
前記複数の壁のうちの第1壁および第2壁内に形成された気体連通路と、
前記気体連通路と前記液体収集チャンバとの間の前記第1壁に配置された第1開口部と、
前記気体連通路と前記液体収集チャンバとの間の前記第2壁に配置された第2開口部と、
前記第1開口部および前記第2開口部の各々を覆う液体・空気分離体と、
を備えるキャニスタと、
前記キャニスタと流体連通して、前記液体収集チャンバに減圧を送達する減圧源と、
前記液体収集チャンバと流体連通し、前記減圧を前記組織部位に分配するよう前記組織部位に配置されたマニホールドと、
を具備することを特徴とする減圧治療システム。

【請求項9】

請求項₈に記載の減圧治療システムにおいて、前記第1壁が前記第2壁に対向することを特徴とする減圧治療システム。

【請求項10】

請求項₈に記載の減圧治療システムにおいて、前記第1壁が前記第2壁に隣接することを特徴とする減圧治療システム。

【請求項11】

請求項₈に記載の減圧治療システムにおいて、前記気体連通路が、カバーによって覆われた前記第1壁および前記第2壁の凹部であることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項12】

請求項₈に記載の減圧治療システムにおいて、
前記キャニスタが、
前記気体連通路に流体連結されたマニホールドチャンバと、
前記マニホールドチャンバに流体連結された減圧ポートと、
をさらに備えることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項13】

請求項₈に記載の減圧治療システムにおいて、前記キャニスタが、前記液体収集チャンバ内に配置された吸収性パッドをさらに備えることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項14】

組織部位に減圧治療を適用する減圧治療システムにおいて、

キャニスタであって、

液体収集チャンバを形成する複数の壁であって、各々が内面および外面を有する、複数の壁と、

前記外面に第1凹部が形成されている、前記複数の壁のうちの第1壁と、

前記外面に第2凹部が形成されている、前記複数の壁のうちの第2壁と、

第1空間を形成するように、前記第1凹部の上に配置された第1カバーと、

第2空間を形成するように、前記第2凹部の上に配置された第2カバーと、

前記第1空間および前記液体収集チャンバを流体連結するように、前記第1壁に配置された第1開口部と、

前記第2空間および前記液体収集チャンバを流体連結するように、前記第2壁に配置された第2開口部と、

前記液体収集チャンバからの液体が前記第1壁の前記第1開口部から前記第1空間に入るのを実質的に防止するように配置された第1液体・空気分離体と、

前記液体収集チャンバからの液体が前記第2壁の前記第2開口部から前記第2空間に入るのを実質的に防止するように配置された第2液体・空気分離体と、

前記第1空間および前記第2空間に流体連結された減圧ポートと、
を備えるキャニスタと、

前記減圧ポートと流体連通して、前記液体収集チャンバに減圧を送達する減圧源と、

前記液体収集チャンバと流体連通し、前記減圧を前記組織部位に分配するように前記組織部位に配置されたマニホールドと、

を具備することを特徴とする減圧治療システム。

【請求項15】

請求項14に記載の減圧治療システムにおいて、前記第1壁が前記第2壁に対向することを特徴とする減圧治療システム。

【請求項16】

請求項14に記載の減圧治療システムにおいて、前記第1壁が前記第2壁に隣接することを特徴とする減圧治療システム。

【請求項17】

請求項14に記載の減圧治療システムにおいて、前記キャニスタが、前記液体収集チャンバ内に配置された吸収性パッドをさらに備えることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項18】

請求項14に記載の減圧治療システムにおいて、

前記第1空間および前記液体収集チャンバを流体連結するように、前記第1壁に配置された第3開口部と、

前記第2空間および前記液体収集チャンバを流体連結するように、前記第2壁に配置された第4開口部と、

前記液体収集チャンバからの液体が前記第1壁の前記第3開口部から前記第1空間に入るのを実質的に防止するように配置された第3液体・空気分離体と、

前記液体収集チャンバからの液体が前記第2壁の前記第4開口部から前記第2空間に入るのを実質的に防止するように配置された第4液体・空気分離体と、
をさらに備えることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項19】

請求項18に記載の減圧治療システムにおいて、

前記第1液体・空気分離体および前記第2液体・空気分離体が同一平面上にあり、

前記第2液体・空気分離体および前記第4液体・空気分離体が同一平面上にあることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項20】

請求項14に記載の減圧治療システムにおいて、

前記第1凹部が実質的にL字型であり、前記第1凹部の頂点領域において第2脚部と交差する第1脚部を含み、

前記第1開口部が前記第1凹部の前記頂点領域に配置され、

前記第2凹部が、形状が実質的に矩形であり、第1端部および第2端部を含み、

前記第2開口部が前記第2凹部の前記第1端部に配置され、

前記キャニスターが、

前記第1凹部の前記第1脚部の前記頂点領域と反対側に配置された第3開口部と、

前記第1凹部の前記第2脚部の前記頂点領域と反対側に配置された第4開口部と、

前記第2凹部の前記第2端部に配置された第5開口部と、

前記液体収集チャンバからの液体が前記第3開口部から前記第1空間に入るのを実質的に防止するように配置された第3液体・空気分離体と、

前記液体収集チャンバからの液体が前記第4開口部から前記第1空間に入るのを実質的に防止するように配置された第4液体・空気分離体と、

前記液体収集チャンバからの液体が前記第5開口部から前記第2空間に入るのを実質的に防止するように配置された第5液体・空気分離体と、

をさらに備えることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項21】

請求項20に記載の減圧治療システムにおいて、

前記第1開口部が、前記第1液体・空気分離体によって覆われた複数の開口部のうちの1つであり、

前記第2開口部が、前記第2液体・空気分離体によって覆われた複数の開口部のうちの1つであり、

前記第3開口部が、前記第3液体・空気分離体によって覆われた複数の開口部のうちの1つであり、

前記第4開口部が、前記第4液体・空気分離体によって覆われた複数の開口部のうちの1つであり、

前記第5開口部が、前記第5液体・空気分離体によって覆われた複数の開口部のうちの1つであることを特徴とする減圧治療システム。